

# オフィシャルとは

2017年 ポートボール連盟 指導部

## はじめに

この解説書は、今すべき事に重点を置いて審判手帳の「オフィシャルズマニュアル」を基に作成しました。

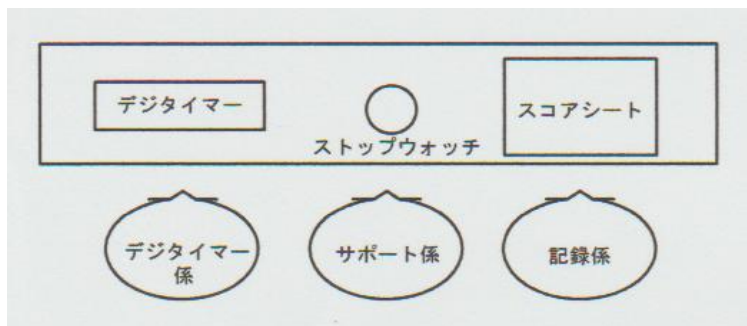
オフィシャルとは、ポートボール競技を行うに当たり、ゲームを公正・正確かつ円滑に進行出来る様に時間を計測したり、得点を記録する人を言います。

1. オフィシャル及び得点係は、ゲームを公正・正確かつ円滑に進行出来るよう次の役割を担う。
  - (1)記録係(スコアラー)      スコアシートの記入
  - (2)デジタイマー係          デジタイマーの操作
  - (3)サポート係                ストップウォッチによる時間計測、記録係・デジタイマー係の補助  
※オフィシャル席には以上の3名が着席し進行する。
  - (4)得点係                      得点板の操作 (2名で行う)

では、試合の流れに沿って説明して行きたいと思います。

## 2. ゲーム開始までに行うこと

- (1)試合が始まるまでに、記録係・デジタイマー係・サポート係はオフィシャル席に、得点係は得点板の指定場所に速やかに着席し、準備に取り掛かります。  
なお、オフィシャル席はサポート係を真ん中にして記録係・デジタイマー係はその両側に座ります。



(図. 1)

← 大会会場の都合により座り位置は右からデジタイマー係になる事もあります。

図. 1 オフィシャルの座り位置

- (2)記録係は、スコアシートの日時(A)・大会名称(B)・何試合目か(C)・開催場所(D)・審判員・記録係の名前(E) を記入する。  
オフィシャル席に座り左側ベンチのチームをF1に、右側ベンチのチームをF2に記入します。(図. 2)  
(まずチーム名は、メンバー表欄から記入し、それに合わせてスコア欄に記入すると良い)

(A) 2015年8月7日

ポートボール・スコアシート

(B) (大会名: 中央スポーツ大会)

(C) 第 1 試合 (会場: 金岡体育館) (D)

チーム名	1 QUATER	2 QUATER	3 QUATER	4 QUATER	延長 1	延長 2	合計
(F1) 塚北 ( )	/	/	/	/			
(F2) 塚南 ( )	/	/	/	/			

← 左側のベンチのチーム名を記入します。 (E) 右側のベンチのチーム名を記入します。→

チーム名	(F1) 塚北 ( )														主審	副審	記録	主審サイン	チーム名	(F2) 塚南 ( )													
背番号	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	鈴木	佐藤	山田		背番号	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14
1Q																				1Q													
2Q																				2Q													
3Q																				3Q													
4Q																				4Q													

←こちらから先にチーム名を記入しましょう。

図. 2 スコアシート記入例

- (3) サポート係は、記録係の補助をしながら、対戦チーム名の貼り出しなどを行う。
- (4) デジタイマー係は、試合要綱に従い、試合間の時間が必要であれば、デジタイマーを操作する。
- (5) 得点係は、得点板の指定場所に対戦チーム名を貼り出す。

3. いよいよゲーム開始です

- (1) デジタイマー係は試合時間5分を入れて待機します。
- (2) 両チームの選手がセンターラインを挟んで整列します。そして主審の号令で選手は挨拶をします。それから、主審はゲーム進行するに当たり呼称するチームの色を決めます。記録係は、その色を該当チームのかっこ欄に間違いなく記入します。(図. 3)

チーム名		1 QUATER	2 QUATER	3 QUATER	4 QUATER	延長 1	延長 2	合計
堺北 (黒)								
堺南 (赤)								

チーム名	堺北 (黒)														主審	鈴木	チーム名	堺南 (赤)													
背番号	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	副審	佐藤	背番号	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14
1Q															記録	山田	1Q														
2Q															主審サイン		2Q														
3Q																	3Q														
4Q																	4Q														

図. 3 チームカラーの記入例

(3)メンバーチェック(重要事項)

メンバーチェックはスコアシートの**重要事項**ですので、間違いなく記載するよう注意しましょう。第1クォーターに出場する選手がオフィシャル席前に並びます。サポート係が背番号を読み上げます。

例:「黒チームから行きます。10番、1番、2番・・・。つぎ赤チーム行きます。・・・」間違いがなきようスコアシートの背番号表の該当番号欄に○印を記入する。(図. 4) チェックが終わったら副審にチェックが終わったことを伝えます。

チーム名		1 QUATER	2 QUATER	3 QUATER	4 QUATER	延長 1	延長 2	合計
堺北 (黒)								
堺南 (赤)								

チーム名	堺北 (黒)														主審	鈴木	チーム名	堺南 (赤)													
背番号	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	副審	佐藤	背番号	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14
1Q	○	○	○	○	○	○									記録	山田	1Q	○	○	○	○	○	○								
2Q															主審サイン		2Q														
3Q																	3Q														
4Q																	4Q														

← 間違いが無いように注意!

図. 4 メンバーチェック記入例

(4) 試合開始

全ての準備が終わったら、「OKサイン」として片手をあげて審判に知らせます。  
審判がトスアップをして、どちらかの選手が最初にボールに触れた瞬間にタイムスタートですので、デジタイマー係はタイムのスタートボタンを押します。やり直しの場合は、時計を元に戻します。

(5) 得点の記録(重要事項)

得点は、シュートされたボールをゴールマンがキャッチし、審判がゴールの笛を鳴らしたら得点とし、サポート係は「黒 2点!」とデジタイマー係と記録係に伝えます。  
記録係はスコアシートのマスの中に間違いなく×印を記入します。(図. 5)  
デジタイマー係は、審判に手を挙げて得点の確認が出来た事を知らせ得点ボタンを2回押します。  
得点係は、審判に手を挙げて得点の確認が出来た事を知らせ得点板の得点を入れます。  
サポート係はその時、間違いなくスコアシートの記入及びデジタイマーの得点入力が行われた事を確認できれば間違いは減ると思いますので励行して下さい。  
そしてクォーター終了のブザーが鳴れば第1クォーター終了です。

4. クォーター間の休憩時にする事

(1) 得点の集計及びメンバー交代

記録係は即座にそのクォーターの得点を集計し、得点欄に得点を記入します。(図. 5)  
それが、第2クォーター及び第3クォーター終了後であればそのクォーターとそれ以前の集計点を合計しておきます。  
(そのクォーターの点数を斜線の左上に、それまでの集計点を右下に書く 図. 5及び図. 7 )  
デジタイマーの得点を差異が無いかも確認しておきましょう。  
もし、各クォーター終了時にデジタイマー・得点板・スコアシートの得点が違っていた時は、審判に報告し「協議の上」誤りを正します。

休憩中に各チームから選手の交代を告げに来ます。  
「次、試合に出る子、手を挙げて」と選手に伝えて、選手に手を挙げてもらいます。  
出場する選手の番号に「○」、退場する選手の番号に「×」をつけます。  
その時、サポート係が「黒 7番イン・5番アウト、8番イン・6番アウト」とスコア係に伝えます。

ポートボール・スコアシート		2015年8月7日					
(大会名: 中央スポーツ大会)							
第 1 試合(会場: 金岡体育館)							
チーム名	1 QUATER	2 QUATER	3 QUATER	4 QUATER	延長 1	延長 2	合計
堺北 (黒)	14 / 14						
堺南 (赤)	10 / 10						

堺北 (黒)		堺南 (赤)	
背番号	10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 11 12 13 14	背番号	10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 11 12 13 14
1Q	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	1Q	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2Q	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	2Q	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
3Q	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3Q	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
4Q	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	4Q	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

← 間違いが無いように注意!

図. 5 第1クォーター終了後、休憩時の記入例

(2) ハーフタイムの時は

第2クォーターが終了すると、ハーフタイムとなりチェンジコートをしします。  
デジタイマー係は、チェンジコートボタンを押して左右の得点を入れ替えます。  
得点係も得点板の点数を入れ替えます。

### (3)メンバーチェック(重要事項)

メンバーチェックはスコアシートの**重要事項**ですので、間違いなく記載するよう注意しましょう。休憩時間終了のブザーが鳴ったら、第2クォーターに出場する選手がオフィシャル席前に並びます。サポート係が背番号を読み上げて、選手交代が間違っていないか注意深く確認しましょう。

例:「黒チームから行きます。10番、1番、2番・・・。つぎ赤チーム行きます。・・・」

間違いがなきようスコアシートの背番号表の該当番号欄に○印を記入する。(図. 6)

チェックが終わったら副審にチェックが終わったことを伝えます。

ただし、申告があった選手と整列している選手が違っている時は審判に報告し、その指示に従う。

チーム名		1 QUATER														2 QUATER														3 QUATER														4 QUATER														延長 1		延長 2		合計	
堺北 (黒)		14/14														/														/														/																			
堺南 (赤)		10/10														/														/														/																			

堺北 (黒)															鈴木		堺南 (赤)														
背番号															主審	副審	背番号														
10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 11 12 13 14															佐藤	山田	10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 11 12 13 14														
1Q ○○○○○○○○															記録 主審サイン	1Q ○○○○○○○○															
2Q ○○○○○○××○○																2Q ○○○×○○××○○○															
3Q																3Q															
4Q																4Q															

← 間違いが無いように注意!

図. 6 第2クォーター開始時の記入例

### 5. 試合終了

#### (1)得点の集計と記録内容の確認

第4クォーターのブザーが鳴ると即座に最終集計点を合計し、デジタイマー・得点板と相違がないか確認します。間違いがなければその旨を審判に報告します。(図. 7)

もし、各クォーター終了時にデジタイマー・得点板・スコアシートの得点が違っていた時は、審判に報告し「協議の上」誤りを正します。

全て間違いがなく試合終了の準備が整えば、席を立ち選手が挨拶をするのと同時に挨拶をする。

チーム名		1 QUATER														2 QUATER														3 QUATER														4 QUATER														延長 1		延長 2		合計	
堺北 (黒)		14/14														14/28														16/44														13/57																		57	
堺南 (赤)		10/10														8/18														8/26														11/37																		37	

堺北 (黒)															鈴木		堺南 (赤)														
背番号															主審	副審	背番号														
10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 11 12 13 14															佐藤	山田	10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 11 12 13 14														
1Q ○○○○○○○○															記録 主審サイン	1Q ○○○○○○○○															
2Q ○○○○○○××○○																2Q ○○○×○○××○○○															
3Q																3Q															
4Q																4Q															

図. 7 試合終了時のスコア一例

#### (2)審判のサイン

最後に審判が「サイン」欄にサインを記入すれば、オフィシャルは終了となります。

6. その他

(1) タイムイン・タイムストップ

・時計を進める(タイムイン)は以下の2通りがあります。

- ① ジャンプボールによる場合 (試合開始時と同じ)
- ② スローインによる場合 (プレイヤーの手からボールが離れた瞬間)

なおこの場合、審判が合図(手を振りおろす)をしますので良く見ておいてください。

合図と同時にタイムスタートのボタンを押します。

・時計を止める(タイムストップ)のは以下の2通りがあります。

- ① 試合中に何らかの事由(ボールが遠方に転がった・負傷者が出た など)で審判が「タイムストップ」を宣告した時
- ② 審判がフリースローをした時

コールと同時にストップボタンを押します。

(2) フリースロー時の得点の書き方

フリースローコールがあったら、得点欄に「○」印を書きます。

フリースロー1投目が得点となれば、「○」印の上から「/」を記入します。

フリースロー2投目が得点となれば、「○」印の上から「\」を記入します。

(3) メンバー交代でよくある間違い

チームがメンバー交代を申告する時、よくある間違いです。

例) 第1クォーター休憩時に1人ずつの交代を申告し、第2クォーター休憩指示あと1人ずつの交代を申告すれば9人交代したことになるので、7番と8番の交代を申告した。

チームとしては6番と9番も交代させるつもりだが、申告すると10人めの交代になるので、申告不要と思った。(図. 8)

答) 9人めの交代を申告する時に複数人(10人め、...)交代するのであれば、必ず交代する選手すべての申告をする必要がある。

チーム名	堺北 (黒)														主審	鈴木	チーム名	堺南 (赤)													
背番号	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	副審	佐藤	背番号	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14
1Q	○	○	○	○	○	○	○								記録	山田	1Q	○	○	○	○	○	○								
2Q	○	○	○	○	○	×	○								主審サイン		2Q	○	○	○	×	○	×	×	○	○					
3Q							×	○									3Q	チェック終了													
4Q																	4Q														

↑ 第2クォーター休憩時に申告に来た選手

チーム名	堺北 (黒)														主審	鈴木	チーム名	堺南 (赤)													
背番号	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	副審	佐藤	背番号	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14
1Q	○	○	○	○	○	○	○								記録	山田	1Q	○	○	○	○	○	○								
2Q	○	○	○	○	×	○									主審サイン		2Q	○	○	○	×	○	×	×	○	○					
3Q	○	○	○	○			×	○									3Q	チェック終了													
4Q																	4Q														

↑ 第3クォーターが始まる時に並んだ選手

図. 8 メンバー交代の申告間違い例

なお詳細は、審判手帳の「オフィシャルズマニュアル」を参考にしてください。